



## グリーンプロジェクト情報 第8号

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

### 茎数は少なめで葉色が濃い！ 的確な生育診断で適期適量の穂肥を！！

今年は6月上旬の低温・少照・強風の影響で生育が停滞しましたが、その後6月中旬頃から天候が回復し、徐々に生育量は挽回しています。6月30日現在の生育は、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉色は濃く推移しています。中干しが不十分な圃場においては、引き続き中干しを徹底し、穂肥が出来る稲姿に仕上げましょう。特に今年は6月の低温強風の影響のため、田植え時期による生育量の差が例年以上に大きい傾向で、生育にばらつきもみられますので、生育診断表を目安に適切な穂肥を行いましょう。

また、これからは葉いもちや斑点米カメムシ類が発生する時期となります。農道・畦畔の草刈り、圃場内の雑草の除去を徹底し、病害虫発生未然防止を心がけましょう。

◎現在の生育状況（6月30日現在の生育診断圃データ）（ ）内は平年対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
は え ぬ き	51.4 cm (106)	614 本/m <sup>2</sup> (88)	10.0 (+0.6)	44.0 (+2.1)
つ や 姫	49.9 cm (108)	476 本/m <sup>2</sup> (94)	8.6 (-0.6)	44.5 (+1.2)
雪 若 丸	45.5 cm (106)	675 本/m <sup>2</sup> (90)	9.7 (+0.1)	52.2 (+6.9)

※生育診断圃「雪若丸」の葉色がかなり高い状況ですが、庄内管内の作況圃、県全体の作況圃の平均も48.9と他品種に比べ高い傾向となっています。

### 技、其の一 作溝・中干しの徹底を！

6月下旬は平年に比べて雨が少なく経過していますが、中干しが不十分な圃場も見受けられます。**穂肥までに作溝の手直しを行い、暗渠排水を利用し、「小ヒビが入る程度の中干し」を確実にいきましょう。**幼穂形成期から穂揃期にかけては水分と酸素を最も多く必要とします。中干し後は、走り水により徐々に慣らし、出穂前まで間断灌水（2日湛水して、2日落水するのくりかえし）を続けましょう。

用水不足時の灌水を効率的に行うためにも、仕上げ作溝は早期に行いましょう。（特に高温・強風時における灌水を速やかに行うことができ、稲体も保護されます）

#### 中干し後のKSK28の施用方法

①初期水位を1～2cm程度確保する。（水面はヒタヒタ状態にする）②水尻は閉じて30aに4.2kg1個（10分程度）を水口から流し込む。③流し込み後も入水を続け、水位8cm程度で止水。④流し込み後は3～5日程度止水し落水しない。

### 技、其の二 カメムシ対策はこまめな草刈りで！

病害虫防除所からの6月29日付けの農作物有害動物発生予察情報（第4号）では、斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と発表されています。カメムシ類の増殖を抑えるため「こまめな草刈り」と「圃場内の雑草（ヒエ、ホタルイ等）の除去」を徹底し、地域ぐるみで発生密度の低減を図ることが重要です。また、**草刈りは8月上旬の無人ヘリ防除の前までに終わるようにし、その後は8月末まで行わないようにしましょう。**

#### ☆葉いもちの発生に注意！！

今後の天候次第では葉いもちが発生する恐れがあります。葉色が濃いところや、昨年発生した圃場では注意深く観察し、発生が確認されたら最寄りの営農課へご相談ください。

### 技、其の三 出穂予想(6月30日現在)

☆今年の出穂期は、「やや早い（1～2日程度）」と予想しています。

ひとめぼれ	雪若丸	はえぬき	つや姫
8/1～	8/2～	8/2～	8/8～

### 技、其の四 穂肥は的確な生育診断で適期に適量を！

穂肥が適期にできる稲の条件は①葉色が低下している②葉伸びしていない③茎数がすっきりしていることです。（下表参考）

品 種	葉色	草丈 (cm)	茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	穂肥対応 (N成分kg/10a)					
				-30日	-25日	-20日	-18日	-15日	-10日
はえぬき	4.8	60	630以下		2.0		(1.0)		
はえぬき(低地力)				1.0～1.5		1.5～2.0			
ひとめぼれ	4.5	60以下	630以下			1.5			(1.0)
雪若丸	5.2	55以下	670以下		1.5				
つや姫	4.8	60	550以下	1.5		みどり特栽培穂肥028号			
つや姫(高地力)					1.2	庄内穂肥専用545、らくらく522、化成肥料15-4-15			
ふくひびき	4.8	68以下			2.0				(2.0)

※（ ）内の数値は、状況に応じて実施する。

※葉色板(フジカラースケール)と葉緑素計 (SPAD) の換算値 (目安)

{(SPAD値)+10} ÷ 10 = 葉色板の値 (例) (38+10) ÷ 10 = 4.8 ← 葉色板の値

### 技、其の五 葉色が濃い稲への対応！

はえぬき (11.0葉期) 出穂前25日の葉色	5.0以上⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。ただし(4.0以上) 葉色5.5以上の場合、穂肥は行わない。(ケイ酸追肥を施用)
ひとめぼれ (11.5葉期) 出穂前20日の葉色	4.8以上⇒ 葉色低下を待って対応、ただし出穂前10日になっても(3.8以上) 葉色が濃ければ穂肥は行わない。(ケイ酸追肥を施用)
つや姫 (10.5葉期) 出穂前30日の葉色	4.9～5.1⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。(3.9～4.1) 5.2以上⇒ 25日前までに適正葉色まで低下しない場合、穂肥は(4.2以上) 行わない。(ケイ酸追肥を施用)

## 技、其の六 倒伏軽減対策！

生育が過剰となり倒伏が懸念される場合には、倒伏軽減剤を使用します。

### ○ひとめぼれ

稈長 82 cm 以上となり、倒伏が懸念される出穂 20 日前（11.5 葉期）の稲姿

草丈 (cm)	葉色	生育量 (cm×本/m <sup>2</sup> )	1 株当り本数 (70 株植え)
62	5.0	39,000	30 本以上

### ◆使用薬剤

薬剤名	使用時期	使用量	備考
ロミカ粒剤	出穂前 25～10 日	2～3 kg/10 a	上位節間伸長抑制
スマレクト粒剤	出穂前 20～7 日	2～3 kg/10 a	

※特別栽培米は、倒伏軽減剤及び倒伏軽減剤入り肥料は使用できませんのでご注意ください。

※スマレクト粒剤の重複散布や多量散布は、後作物や次年度の作物に影響する場合がありますので使用量に注意しましょう。

※窒素肥料が使用できない圃場には、ケイ酸資材を使用しましょう。

### <直播情報>

◎湛水直播(鉄コーティング直播)は中干しの時期に入りました。根張りを良くし、耐倒伏性を高めるため、中干し開始の目安となる 470～530 本/m<sup>2</sup>を確認して、時期を逃さず実施して下さい。茎数不足の圃場では、つなぎ肥や浅水管理で引き続き茎数確保に努め、遅くとも 9 葉期(7月中旬)までには中干しに入ります。

### <大豆情報>

◎降雨時は、こまめに圃場を見回り、早期に明渠の手直しなどを実施し、停滞水の排水に努めましょう。大豆の根を湿害から守るため、できるだけ速やかな排水対策を行いましょ

う。◎天候に合わせ、**培土**を遅れずに実施しましょう。(雑草対策も！)

◎食葉性害虫やアブラムシ類の発生が心配されます。高温・乾燥で発生が急増した過去の例もありますので、圃場・生育観察で早期発見・被害防止に努めましょう。

### <農薬飛散防止対策について>

残留農薬等のポジティブリスト制度に伴い、粉剤等で防除を実施する場合には、周辺の園芸作物の種類、収穫時期等を事前に把握し、農薬の飛散防止・低減対策を確実に実行しましょう。ドリフトが原因で農産物が流通(出荷・販売)不可になった場合、原因となった農薬散布者の責任となります。散布時には、風速・風向に注意して下さい。

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫・雪若丸



### しっかり中干しを行い、バッチリ穂肥のできる稲姿に仕上げよう！

●穂肥時期は、「雪若丸」は出穂の 25 日前、「つや姫」は有機質入り肥料で出穂の 30 日前です。遅れずに穂肥ができるように準備しましょう。

●葉色の濃いつや姫には、適期適量の穂肥施用ができません。茎数が多い・葉色が濃い圃場では、やや強めの中干しを継続しましょう。

## 園芸情報

### 長ねぎ露地春どり栽培(春ねぎ)の管理について

長ねぎは秋冬どり栽培が主体ですが、春ねぎは端境期での出荷となるため、需要は高く安定価格での販売が見込めます。しかし、秋冬ねぎに比べ栽培期間が長く、収穫適期幅が短い作型です。下記のポイントを参考に高品質・高収量の春ねぎ栽培に努めましょう。

#### ○使用品種

「羽緑一本太」などの晩抽性の品種を使用します。

#### ○栽培管理

§ 播種時期：5月下旬～6月中旬

高温対策として、発芽するまでは遮光資材を活用し、発芽後は外して光を当てましょう。高温期に向かっての育苗となるため、乾燥に注意し適宜灌水します。

§ 定植時期：7月上旬～8月上旬

気温が高く苗の生育が早いため、老化苗にならないよう適期に定植しましょう。

§ 収穫時期：翌年4月中旬～5月中旬

抽苔するまでが収穫期間のため、遅れないよう収穫します。

#### 【ポイント】

越冬前に生育が進んでいないと越冬できず欠株となってしまうため、越冬時の生育は収穫時の7割程度(草丈70cmを目安)確保します。また適期収穫が重要です。管理は以下を目安に実施しましょう。①明渠など圃場の排水対策を徹底しましょう。②生育に合わせて土寄せは土削りを2回、越冬後に1回～2回行います。越冬前の土寄せは分岐下まで行い、倒伏を防ぎましょう。収穫前は、軟白長の伸びが足りない際は土寄せを追加します。

③追肥は土寄せ直前に行います。追肥の目安量は窒素成分で3～4kg/10aを3回です。肥料切れは抽苔を早めます。④病虫害は秋冬ねぎと同じく軟腐病に注意しましょう。高温時の土寄せや灌水は厳禁です。害虫は発生初期のうちに防除することが重要です。

越冬後は商品になる葉に、病斑やアザミウマ類、ハモグリバエ類など害虫の食害痕がないように薬剤散布による防除を徹底しましょう。5月収穫は気温も上がり、べと病やさび病が出やすい時期になるため、発病前の予防防除を徹底します。

#### ○抽苔(ねぎ坊主)発生時期の予測

収穫が近づく4月上旬頃から試し掘りをし、葉鞘を包丁で縦に切ります。葉鞘内部に「花房」が見られたら、その上に何枚の葉があるか確認します。葉が1枚展開するのに7日～10日かかるため、葉の枚数から抽苔時期を予測することができます。抽苔する前までが収穫可能な時期となります。必ず抽苔時期を予測し、計画的に収穫するようにしましょう。

#### ○晩抽性の新品種！「陽春の宴」

現在春どり栽培では「羽緑一本太」が採用されておりますが、トキタ種苗から晩抽性の品種「陽春の宴」が発売されました。

この品種はR3年度から管内で試験栽培をし、「羽緑一本太」との抽苔発生時期の比較調査を行っています。春どり栽培は安定した価格での販売が見込めますので、この機会にぜひ栽培のご検討をお願いします。

★次号の発行は7月20日です！